



2022 年 5 月 17 日

山田先生による講座と年間計画(下半期)案作成の報告

日時 2022 年 5 月 12 日(木)13:00~16:00

場所 大阪ボランティア協会大会議室

参加者 22 名

来月 6/2 予定されている生き物調査(樫井川河口域)の事前勉強会として貝塚市立自然遊学館の山田浩二先生を講師にお招きし、河口域等に生息する生き物のお話をさせていただきました。そのあと今年度下半期の活動計画案作成を行いました。雨模様にもかかわらず 22 名の参加がありました。

◎講座 講師貝塚市立自然遊学館 山田浩二先生

＜内容＞

- ・近木川、男里川、樫井川それぞれの河口域の状況と生き物
- ・大阪湾のアマモ場復活とそこに生息する物
- ・海の生物について
岩に付着する生き物、砂にもぐる生き物

生活スタイルによる分類

プランクトン(浮遊生物)、ネクトン(遊泳生物)、ベントス(底生生物)

分類学による分類〈門・綱・目・科・属・種〉それぞれの門に分類される河口域の生き物

- ・先生からの提案 森海の生き物調査は定点(近木川・男里川)実施だと毎回同じような結果になるので今後はあらたな場所を検討しても良いのでは。 去年は樫井川で行ったが、過去には成ヶ島、家島、南芦屋浜などへ遠征したこともあった。海岸の漂着物(貝殻、流木、シーグラス、マイクロプラスチック等)を収集・観察するビーチコーミングというのもある。

・ Q & A

Q.アマモ場復活のわけは？

A.海の透明度、砂浜のきれいさの向上、種の漂着等、
生息環境が整ってきたからです。

Q. 生物分類表の各門の順序は進化の順になっている？

A.そうです。

◎年間計画(下半期)案作成

各グループに分かれて下半期分(10 月~3 月)を作成しました。

皆さまご協力ありがとうございました。生き物調査楽しみですね！



16 時終了